

『まるごと』 初中級 A2/B1 教え方のポイント

I. 初中級 A2/B1 コースの目的

『まるごと』 初中級 A2/B1 のコースブックとしての主な目的は以下の 2 点である。

①入門 A1、初級 1 (A2)、初級 2 (A2)の「かつどう」「りかい」の学習内容のまとめと応用

②中級 (B1～ 自立的段階) の準備として新しい学習内容の導入と練習

入門・初級 1・初級 2 では、文字学習の負担を軽減し会話を中心にしたコースの設定が可能ないように「かつどう」と「りかい」に分けているが、初中級では 1 冊に統合した。

II. 「初中級」における日本語学習の考え方

1. レベル A2 と B1

初中級は上記のようなコースの目的に照らして、A2 と B1 の 2 つのレベルの活動からなっている。教室活動を設計する上で取り入れた B1 レベルの特徴は以下の通り。

- ・感情を表現したり、相手の感情に反応したりする
- ・トラブルや予想外の出来事に対処する
- ・語用能力 (その中で、主に談話の構成、流れや談話のコントロールに関わるディスコース能力)
- ・社会言語能力 (自分と相手との関係性にあった言葉遣いなど)

<A2 と B1 のレベル>

		A2	B1
理解すること	聞くこと	(ごく基本的な個人や家族の情報、買い物、近所、仕事などの) 直接自分につながるのある領域で最も頻繁に使われる語いや表現を理解することができる。短い、はっきりとした簡単なメッセージやアナウンスの要点を聞き取れる。	仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、明瞭で標準的な話し方の会話なら要点を理解することができる。 話し方が比較的ゆっくり、はっきりとしているなら、時事問題や、個人的もしくは仕事上の話題についても、ラジオやテレビ番組の要点を理解することができる。
	読むこと	ごく短い簡単なテキストなら理解できる。広告や内容紹介のパンフレット、メニュー、予定表のようなものの中から日常の単純な具体的に予測がつく情報を取り出せる。簡単で短い個人的な手紙は理解できる。	非常に良く使われる日常言語や、自分の仕事関連の言葉で書かれたテキストなら理解できる。起こったこと、感情、希望が表現されている私信を理解できる。
話すこと	やりとり	単純な日常の仕事の中で、情報の直接のやり取りが必要ならば、身近な話題や活動について話し合いができる。 通常は会話を続けていくだけの理解力がないのだが、短い社交的なやり取りをすることはできる。	当該言語の旅行中に最も起こりやすいたいいていの状況に対処することができる。 例えば、家族や趣味、仕事、旅行、最近の出来事など、日常生活に直接関係のあることや個人的な関心事について、準備なしで会話に入ることができる。
	表現	家族、周囲の人々、居住条件、学歴、職歴を簡単な言葉で一連の語句や文を使って説明できる。	簡単な方法で語句をつないで、自分の経験や出来事、夢や希望、野心を語ることができる。意見や計画に対する理由や説明を簡潔に示すことができる。物語を語ったり、本や映画のあ

			らすじを話し、またそれに対する感想・考えを表現できる。
書くこと	書くこと	直接必要のある領域での事柄なら簡単に短いメモやメッセージを書くことができる。短い個人的な手紙なら書くことができる:例えば礼状など。	身近で個人的に関心のある話題について、つながりのあるテキストを書くことができる。私信で経験や印象を書くことができる。

<CEFR 共通参照レベル:自己評価表より>

2. シラバス トピック・言語活動・言語能力・文化

『まるごと』 初中級のシラバス (内容一覧) は、トピックを軸にして、活動 Can-do、言語形式 (語い、漢字、表現、文法・文型)、社会文化 (ことばと文化) の項目を示している。トピックによって内容的なまとまりのある学習ユニットを提示していく。初中級で「かつどう」「りかい」を統合し、A2 と B1 の2つのレベルを取り入れることで、言語活動 Can-do の内容が多様になり、また、難度の幅がやや広がっている。読むテキストを素材とする活動には、言語活動 Can-do (読む) と言語能力 Can-do (言語項目の学習) を関係付けてシラバスに表すことも試みた。

3. 会話 音声重視の学習プロセスと B1 へのステップ

①自然な会話のインプット

モデル会話は、談話構造ができるだけ自然であること、キーセンテンスが覚えて使える程度の長さであることに留意した。また、自然な会話の特徴 (縮約形、助詞の省略、倒置、あいづち、感動詞、など) を取り入れた。会話音声は、登場人物が多く、かつ世代も幅広い分、いろいろな人の声が聞ける。話者の感情や気持ちが理解しやすいように BGM をつけたり、演技を工夫したりして収録した。

②学習プロセス 聞く→発見 (気づく) →話す

第2言語習得のプロセスにもとづき、『まるごと』は自然な会話をじゅうぶんに聞いてから、発話することを重視している。特に留意したいことは、話す前に聞くこと、じゅうぶんに聞くことの2点である。聞く活動の4つの会話とモデル会話は、若干のバリエーションをまじえながらも、基本的に内容も会話の流れも類似したもの。これを聞いて、学習者が表現や会話の流れに気づくことを期待している。会話例から言語運用のルールを引き出すという帰納的なプロセスを経た学習になる。その後、モデル文を自分の情報におきかえて、自分の会話として練習する。ルールを発見するためのインプットのモードに関しては、初級2までは音声のみを重視し、聞く活動のために会話を文字化したスクリプトを提示することはなかった。しかし初中級では、「発見」で扱う文型がやや複雑になった上に、やや長い会話 (文脈) の中で観察する必要があるので、音声だけではなく文字化した会話スクリプトの両方を使っている。

③会話が自由にできるようになるためのステップ

「きいてはなす」の後半で使う談話は少し長く複雑であり、内容的にも、個人的なことに一步踏み込んだものが多い。このような少し踏み込んだ内容でやりとりができるレベルはB1以上 (言語使用者として自立した段階) と思われるので、初中級ではまず学習者自身が言いたい内容をメモに書いて準備をしてから、会話に入るようにする。これと関連して、コミュニケーション言語能力の学習においては、特に以下のような語用能力 (ディスコース能力)、社会言語能力に重点を置いている。

- ・人との関係性によって言語の使い分けがあることを知る
- ・複数の参加者がいる会話を聞いたり、話したりして、談話を管理する方法を知る
- ・ターン(会話の発言権)を渡したり、受け取ったりするための方法と表現を学ぶ

4. 読解 事実と心情を読みとる

初中級のトピックは人の内面に触れる内容が多い。読解テキストにはメールやブログなど個人が発信した文章を多く使っている。事実関係の把握だけでなく書き手の気持ちを考えてみるようにする。学習者の考え方、感じ方がテキストの内容と同じようになる必要はないが、読みを書き手とのコミュニケーションにつなげるためには、このようなプロセスが必要ではないかと思われる。読解の質問には、①答えがテキスト上に現れている(情報を取り出す)、②テキストに書かれている情報を整理して答える、③書かれている情報と自分がもっている知識を統合して答えるものがある。「初中級」では、①と②を中心に扱った。また、日本語のインプットを増やすため、読む技能をつけるために、読む(文字処理の)速度を上げる必要がある。時間を区切って読んだり、音声を聞きながら黙読する練習もするとよい。

5. 文字 語の表記としての漢字

A レベル(基礎段階)から B レベル(自立段階)に学習目標があがっていくにつれて、文字によるインプットの量が増えることが予想される。これに備えるため、初中級では初級2までの既習語を中心に、できるだけ多くの語を漢字表記にして示すようにした。なお、『まるごと』では漢字は書くよりも読むほうを重視しているため、テスト問題例では書く問題は出していない。表記に関しては p10 に詳細あり。

6. 語い トピックでまとめる語い学習

初級2までと同様、トピックと各課の内容にあった語を導入する。基本語いの中からトピックに関係のある語を選定しているが、トピック関連で必要であれば、従来の日本語教育の基準で基本的でなくても導入、使用した。このような提示方法によって、学習者が概念的に近い語を関連付けながら効率的、効果的に学習していくことを期待している。マッピング、対義語、コロケーション(よく使われる組み合わせ)、文脈の中での練習など、練習形式にも変化をつけた。

7. 文法・文型 コミュニケーションと結びついた活動

文法・文型のような言語項目の学習は、コミュニケーションと結びつけて行うため、以下のような方法をとっている。

①項目を提示する読みテキストは、前段階で学習する「きいてはなす」とトピックを共有。

口頭産出活動中心の「きいてはなす」と同じトピックを引き継いで、読みテキストを文法・文型の導入に使う。「よんでわかる」は文法・文型導入→ルール提示・確認→練習、という演繹的な学習プロセスをとる。

②文脈のある文型練習

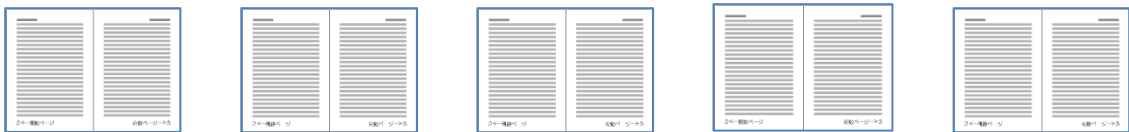
トピック・場面・課題につながる文型練習をするために、その課で練習する文はすべて、トピックと関連させ、内容的にまとまりのある学習を進める。1文単位でも学習者が自分のことを話すときに役立つ問いかけを提示した。

③音声インプット重視の文型練習

言語構造の学習は最終的にコミュニケーションにつながらねばならない。したがって、初中級においても音声インプットを重視している。その方法としては、文型練習の答え合わせに使う、音声を伴う文型練習をする、などがある。

Ⅲ. 全体構成と時間配分

全9トピックとテストとふりかえり1・2からなり、1つのトピックは10ページ構成。「じゅんび」→「きいてはなす」→「よんでわかる」の3パートから成っている。1トピックあたりの授業時間の目安は6～8時間。以下に1トピック6時間（2時間授業3回）の場合の、おおよその時間配分を示す。



- ① じゅんび ② きいてはなす-1 ③ きいてはなす-2 ④ よんでわかる-1 ⑤ よんでわかる-2
ことばと文化

1回目 ①じゅんび → ②きいてはなす-1 → ③きいてはなす-2 → Can-do チェック
(30分) (60分) (25分) 会話文導入 (5分)

2回目 ③きいてはなす-2 → ことばと文化 → ④よんでわかる-1 → Can-do チェック
(60分) 前回復習から (25分) (30分)読解文 (5分)

3回目 ④よんでわかる-1 → ⑤よんでわかる-2 → Can-do チェック
(70分) 前回復習から (45分) 話し合いも含む (5分)

※トピック1と8は 「きいてはなす-2」が④まであり、⑤よんでわかる-1、⑥よんでわかる-2、と続きます。ページ数はほかのトピックと同じです。

IV. トピックの目標と流れ じゅんび → きいてはなす → よんでわかる

各トピックの目標は以下の3つ。

- ・ A2、B1 レベルのコミュニケーション行動（課題）ができるようになる
- ・ その際に必要な言語形式／言語項目のルールや使い方を理解する
- ・ トピックに関連した日本文化について知る

各トピックの教室活動を進める上での留意点は以下の通り。

1 トピック 6 時間授業の例 ※時間配分については、p4「Ⅲ. 全体構成と時間配分」参照のこと。

●じゅんび (30分) トピック内容と関連語いの導入

- ・ 写真はトピックのイメージや学習内容をつかむために利用する。
- ・ 複数の語いが提示されるが、トピックとしてのまとまりを意識する。
- ・ よく使われる語の組み合わせで覚える。(コロケーション、マッピング、対義語など)
- ・ 学習者が自分自身の生活に関連付けて考える。覚えるときには、自分に必要な語を選ぶこと。

漢字のことは

- ・ 漢字表記を語彙学習の一環として捉える。ここでは漢字の読み方を学び、書くことはしない。トピックとずれないように、時間配分に気をつけながら、単漢字の意味から熟語の意味を類推するなどの学習のストラテジーも紹介できるとよい。

●きいてはなす-1 (60分) 4つの会話を聞く→ルールを発見する→話す

1 聞きましょう

- ・ 聞く→発見→話すの流れで進めること
- ・ 場面設定（どんな人が、どんなところで、何のために話しているか。その人たちはどんな関係か、人間関係を構築するための発話がどこにあるか、など）を確認する。
- ・ 聞く前に、質問（タスク）と手順を確認する。選択肢になっていることばやイラストも事前に見て、意味や内容を確認する。
- ・ 新しい文法、文型、語いがあっても、会話を聞く前には教えない。じゅうぶんな音声インプットを通して学習者自身が言語形式とルールに気づくことが大事。
- ・ 会話の音声はできるだけ回数を多く聞くようにする。そのために、例えば、質問が複数ある場合は、1つずつ目的にして聞くなどする。(例 まず質問(1)に答えるために音声を聞く。よくわからなかったら、もう一度聞く。その後で質問(2)に答えるために聞く。)
※別文書「BGMつき音声ファイルについて」を参照のこと。
- ・ 場面、語い、既有知識を使って質問に答える（タスクをする）。

2 ことばの使い方のルールを発見しましょう

- ・初級2までの既習文法・文型の復習、強化、応用をねらう。
- ・新出項目はなく、初級2までの文型・文法を、組み合わせて使ったり、長い文の中で使ったりする。既習項目であっても学習者は覚えていないかもしれないが、会話音声をもう一度聞かせて、意味や機能を思い出す、気づく、推測することなどを促す。ポイントは、難しく見せないこと、説明しすぎないこと。

2 発見

1 聞きましょう (音声インプット)

→ 2 ルール確認 (簡単な説明) → 練習して理解 → 音声で再確認

- ・例文を見て、言語構造上のポイントを説明する。
「試合が日曜日なら、だいじょうぶなんです」(トピック1 p22)
ポイント①「なら」という表現を使っている
ポイント②「なら」の前に名詞、動詞(辞書形)がある。
ポイント③「S1ならS2」は、S1を仮定条件としたら、S2が成立する
- ・活用の確認
例文を2つと、練習問題を2つ示している。「発見」では基本的に当該トピックに必要な語だけを扱うので、ほかの語を加える必要はない。加える場合は、同じトピック場面で使えるものに限定すること。
- ・練習問題をやる。例文を見て、1人でする。
- ・発見した文型・文法を意識して、音声をもう一度聞く。
- ・ペアで答えチェック後、全体でチェック。

3 ペアで話しましょう

- ・1で聞いた会話を自分自身の情報を使って話してみる練習。
- ・教師は学習者に談話の流れや重要な表現に注目させる。「こんなとき、どう言うか」「さっき聞いた会話ではどう言っていたか」問いかける。うまく思い出せなかったら、もう一度聞く。それから、ペアで話す。
- ・学習者は、談話の流れを暗記する必要はなく、ときどき教科書を見ながら話してもよい。人間関係が構築できるようなやりとりを、日本語で言語的・非言語的に表せる技能を身につけるのが目的なので、ペアの相手の顔を見ないで教科書だけ見て音読することにならないように注意する。
- ・自然な会話を意識して、会話スクリプトは「～ています」の「い」の脱落や助詞の省略、あいづち、感動詞、倒置なども取り入れている。初中級の学習者にも、自然な話し言葉として使ってみてほしい。
- ・吹き出しの中の点線は、複数の表現や文がある場合を示している。楕円形の吹き出しは、会話の流れによってはこういう発話もあるというオプションを示している。順番がわかりにくい場合があるので、事前に流れを確認する。たとえば、p37のように内容を考えて言う場合

や、p47のような少しまとまった談話の場合は、事前に話す準備をする。

●ことばと文化 (25分)

- ・日本語の使い方を素材にした異文化理解学習。目的は、正答を選ぶことや、その理由や背景を教師が解説したり知識を与えたりすることではない。答えを選んだ理由を考えたり自分の今までの行動をふり返ることで、自分の価値観を問いなおし、他者の異なる価値観も受け入れる素地を作る。話し合いは母語でもよいが、初中級の学習者はできる範囲で日本語も使ってみるとよい。

●きいてはなす-2 (85分)

会話の全体内容理解→談話の流れ確認→発見→メモを書く→会話

1 聞きましょう

- ・ここでは2と合わせて、語用能力（ディスコース能力）、社会言語能力、言語構造的な能力（文法、語彙など）を意識して学習する。
- ・指示文やイラストから場面を確認する。それから会話音声だけを聞いて、どんな内容かおおまかに理解する。初めて聞くときは、スクリプトは見ないで音声に集中すること。音声はBGMありを使うと、状況や心情を理解するヒントになる。2回ぐらい聞いて、何が聞こえたかクラスで出し合う。次に、本文ページの文字スクリプトを見て、会話の前後から判断して（ ）に入る文や表現を選びながら、話の展開（談話）がどうなっているか考える。会話を再度聞いて、答えを確認しながら、談話の流れを確認する。

2 ことばの使い方のルールを発見しましょう

- ・丁寧体と普通体の使い分けについては、初級2まで会話の中で普通体を使ったり、表現として敬語を取り上げたりしたので、初中級ではそれを明示的に学習する。
- ・上記「きいてはなす-1」の同項目参照のこと。

★トピック1・8

- ・発見のあと、ペアで1の会話を見ながら練習する。

談話の流れを十分に理解することが重要なので、談話の流れに沿って、自分で情報を入れ替えて言えればよい。談話を発展させてこれ以上に長く話したりする必要はない。

3 メモを書いて、話しましょう

- ・このやりとりはB1レベルなので、一問一答のやりとりではなく、学習者が会話の中心になって自分のことを少し長くくわしく話すことを目標としている。そのために、まず、メモを作成する。

メモは、質問の答えに学習者自身の情報を入れて作る。メモの記入欄には談話の一部が入っているが、それが自由な発想を制限してしまいそうな場合には、適宜、使いやすくなるように調整してよい。目標は会話の中でまとまった情報提供ができるようになること。メモは会話中、時々見てもよいが、メモの音読にならないように気をつける。会話の聞き手は、興味を持って聞くことが大事。そこから自然なあいづちやジェスチャーが表れるだろう。今までの聴解や会話で見たような反応を試してみるのもよい。

- ・学習者にとって、上のような B1 レベルの会話が難しい場合は、メモ記入のヒントにする質問文を利用して、質問に答える形から練習してもよい。その場合は A2 レベルの活動になる。

★以下の3つのトピックの活動目的は上と異なる。

トピック 1：スポーツの応援の表現の練習、スポーツ観戦の感想を言う会話

トピック 8：旅行先でトラブルに合った時の表現の練習

トピック 6：結婚式のパーティーでの友人代表スピーチ

メモ（簡単なスピーチ原稿）を見ながらスピーチをする（読み上げてよい）

●よんでわかる-1 （100分） 読む → 文法・文型の導入・練習

1 読みましょう（20分）

- ・ブログやサイトの記事、メールなどから、事実と書き手の心情を読みとる。
長めのテキストを1つ、または短めのテキストを2つを読む。
- ・読解テキストには新出文型が埋め込まれているが、読む前には教えないこと。内容理解の質問は、新出文型の意味がわからなくても推測しながら答えられるようになっている。内容を理解したあとで、文型練習に進む。

2 文法・文型を勉強しましょう（70分）

- ・1の読解文の中で提示された文法・文型の練習をする。トピックによって項目が2～3つあるので時間配分に注意。項目は、いわゆる初級文型で、『まるごと』初級2まで未習のもの。
- ・トピックの文脈の中で文法・文型の使い方を練習する。練習問題を加える場合は、問題文がトピックから外れないように注意する。
- ・文型練習のための聴解、答えチェックなどに音声を利用する。

●よんでわかる-2 （45分） 読む → 話す

- ・1に関連した内容で、もう一つ文章を読む。読む時間を制限（1分ぐらい）して、できるだけ早く読むようにすること。時間を意識することで、文字の処理速度を上げることを目指す。
- ・この読解テキストには、内容のイメージに合わせた BGM つきの音声も活用できる。

- ・最後の質問は、学習者がトピック内容を自分にひきつけて考え、クラスメイトと話し合うため。読んで考え、他者と話すことで、より深い異文化理解学習につながれるとよい。

●Can-do チェック (5分)

- ・授業の後、学習者がその日の学習成果を自己評価する (3段階)。
- ・コメントがあれば記入する。(母語で書いてもよい。)
- ・日付を必ず書くこと。
- ・このチェックリストは、まとめとふりかえりのときに使用する。

●プロジェクトのアイデア

初中級コースのカリキュラムで時間がとれるようであれば、入門、初級1・2の総仕上げとしてプロジェクトを実施するとよい。以下はそのアイデア。

①スピーチ発表会

上記の作文を、スピーチ原稿として仕上げ、各自練習し、クラスで発表する。これもまた、ピア評価をするとよい。スピーチは自国の文化や人々の生活、自分の町の観光スポットの紹介などのテーマでつくと、学校に日本から来客があるときや日本文化イベントのときなどにも使いやすく、聞く人にも喜ばれる。

「きいてわかる-2」のメモをさらに発展させて書くこともできる。

②作文コンテスト

学習したトピックの中から好きなテーマを選んで作文を書き、クラスで発表する。

「きいてわかる-2」のメモをさらに発展させて書くこともできる。

学習者は互いの作文を読んで、好きな作文、よく書けていると思う作文を選んだり、コメントを寄せるなどして、ピア評価をする。書いた作文はポートフォリオに入れる。

③創作スキット発表会

各トピックで学習した会話をもとにして、学習者(グループ)が自分でスキットをつくり、発表する。一つのスキットを自分たちに合わせて作り直してもいいし、複数の会話を組み合わせてドラマ仕立てにしてもよい。初中級には Can-do の会話以外にも会話をふんだんに使っているので、巻末のスク립トも利用して、楽しいスキットを作ってみてほしい。

④観光案内(日本人と外出する)

学習者の町に在住している日本人といっしょに、町に出かける。

準備段階ではさそいのメール、観光スポットの説明、レストランで食べるおすすめ料理や食べ方の説明、雑談で話すことなど、これまでの学習内容を復習しながら、その一日の行動を想像しておく。

外出が終わったら、クラスでその日のことを報告する。いっしょに外出する日本人の手配が必要になるが、学習者にとっては本物のコミュニケーション体験になる。

V. 表記のルール

1. 漢字表記の語：

①『まるごと』 入門、初級 1、初級 2 で学習したもの。

※ダウンロード教材「漢字のことばリスト」参照のこと。<http://marugotonihongo.jp/library/>

例外：トピック 6 では婚約中の男女を「2 人」ではなく「ふたり」とかな表記にした。

②人名（一部例外あり。）各教室活動に同じ名前が複数回出てくるので、原則として 1 つ目にはルビがついている。

2. 漢字のことば（漢字表記を新規導入する語）

各トピックの「じゅんぴ」のページに「漢字のことば」として提示してある語は、新規で漢字表記していく語である。学習項目になっており、以下の点に留意して選定した。

①当該トピックの内容に関連しており、かつ、日常的にもよく使う語

②漢字表記は未習だが、語として既習のもの

3. 漢字表記でルビつきのことば

①漢字表記されている人名

各教室活動に同じ名前が複数回出てくるので、原則として 1 つ目にはルビがついている。

②日本語学習上の補足情報-1

トピックとの関連性が強い語が、学習者の必要に応じて読み方を知ってほしい語は、コラムにして提示した。

トピック 9 業種（金融、建設、など）、会社の組織（営業、企画、など）

③日本語学習上の補足情報-2

各トピックの「きいてわかる」の会話文（本編にある会話スクリプト）と「よんでわかる」の読解文では、以下のような語をルビつき漢字表記にした。

・トピック関連だが「漢字のことば」でもコラムでも提示できない語

・語彙としては既習のもの

④語や表現が練習問題の選択肢や、キューになっている場合

漢字の読み方がわからないことが学習活動の障害にならないように、ルビをつけた。

VI. 音声ファイルの利用法

※別文書「BGM つき音声ファイルについて」参照のこと。

Ⅶ. 各トピックのポイント

全トピックに共通した教室活動の手順については「Ⅳ. トピックの目標と流れ」(p5-p9)を参照のこと。ここでは、各トピックを教える上での留意点を個別に挙げていく。

トピック 1 スポーツの試合

人と話すときの話題には社会文化的な制約があるが、スポーツはそれをさほど気にしなくてよく、取り上げやすい。スポーツに興味がない学習者にとっては、自分の話題を広げ、趣味を共有していない人とのやりとりを学ぶことができるだろう。

1. スポーツの試合

- 1 5枚の写真で国民的スポーツをとりあげた。サッカーやテニス是世界中で、アイスホッケーはカナダ、ロシアなどで、ラグビーはオーストラリア、ニュージーランドなどで、野球は日本やアメリカで人気が高い。学習者の国の国民的スポーツは何か名前をあげてみてほしい。
- 2 新出語いを文脈の中で選ぶ問題。トピック全体の導入となっている。
- 3 試合を中心にして、関連性のある語いを整理した図（語いマップと呼ばれる）。楕円形には人を、四角には動詞を選んで入れる。語いを整理して覚えやすくする方法としてここで紹介する。語彙マップはトピック 8 (p93) にもある。

2. 行きたいんですが…

「Can-do1 友だちを外出にさそう/さそいをうける」(B1)

「Can-do2 りゆうを言ってさそいをことわる」(A2)

1 聞く

場面：好きな事は友人と共有したいもの。ここではサッカー好きの中村が、友人を試合観戦に誘う。誘われた友人たちは、各々の興味や事情を理由にやりとりする。スポーツ観戦のようなイベントは、興味のあるなしに関わらず、詳しい人がいっしょだと様子がよくわかり、よい異文化体験になるだろう。

会話の参加者は3人。設定上①②は土曜日、③④は日曜日に試合がある。声に気持ちが表れていることに注意。「そうですか」(文末上昇調イントネーション)は、「そんなことはない」と思っている場合。p27にイントネーションを示す図がある(音声ファイルつき)。

誘いを断る理由の表現は複数出てくる(「ほかに約束がある」、「あまり興味がない」、など)。初中級では、使える表現の種類を増やしたい。また、断る理由には、その人の生活や考え方が垣間見られる。ジョイがなぜ「おほほ」と笑っているのか、理由を考えるとおもしろいだろう。

2 発見

(1) 「____なら、____」

ほかの人の発言を受けて、話し手の考えを伝える。初級 2 (L3) で既習。

(2) 「____って、言って (い) ました (よ)」

ほかの人が話した内容を伝える。初級 2 (L18) で既習。

3 話す

会話の話者は4人なので、話している相手を意識しながら（目線や体の方向など）やってみる。興味がないという理由で誘いを断る人に対して、すぐにあきらめずにもう一言続けて誘う言い方が出ているので注意。また、誘われたときの答え方が複数出ているので、使える表現の種類を増やしたい。A「そうですか。(テレビでおもしろい試合になるって言ってましたよ。)」は上昇調イントネーション、D「そうですか。それなら、行ってみます。」は下降調イントネーションなので注意して気持ちを聞きとる。また、大人の断り方として、「行きたくないから行きません」ではなく、「遠慮します」という表現がある。学習者の母語ならどう言うか、比べてもおもしろい。

ことばと文化

誘うという行動は人と人の関係作りの大事なきっかけだが、断られる場合もある。そういうときにもう一度誘うというのは勇気がいるもの。そのような行動とその背景にある考え方をとりあげた。「人間関係を作るには勇気を出して一歩踏み込む (a)」、「相手がゆっくり考えられるように時間をおいてもう一度誘う (b)」、「あまりしつこくしないほうがいい (c)」など、学習者ならどうするか、どうされたいか、その理由とともに考えたい。

3. 行けなくなったんです

「Can-do3 りゆうを言ってやくそくをキャンセルする」(B1)

1 聞く

場面：ワンは中村たちとサッカーの試合を見に行く約束したが、都合が悪くなったので、電話で中村にキャンセルの連絡をする。

まず、会話音声だけを聞いてワンはどうして中村に電話しているのか、内容を全体的につかむ。その後、スクリプトを見て会話中（ ）の表現を入れながら、話の展開（談話）がどのようになっているか考える。中村が「気にしないで。試合は来月もあるから、…」と発言しているが、その理由（ワンへの配慮）や、どう思うか考えるとおもしろい。

2 発見 「じつは、___んです」

「___んです」は、理由・事情説明のときに使う。初級1(L17)で既習。「じつは」を付け加えることで、その内容が聞き手にとって新しい情報であることを示す。p31の文法の聴解問題でも使われている。今までほかの人に話さなかった自分の事情を打ち明けるときに使えるので、学習者のユーモアのセンスでおもしろい文も作れるだろう。

3 話す

P28にはスペースの関係で会話の冒頭部のみを示したが、Can-do3の音声(193)とスクリプト(p125巻末「トピックのまとめ」)を参照のこと。

モデル会話で流れを確認したら、学習者自身でことばや文を変えて練習すること。なお、Can-do3の会話スクリプトには電話表現をつけていない。練習では電話会話でも相手に直接話す会話でもよい。

4. おうえんのことば

「Can-do4 スポーツの試合で好きなチームをおうえんする」(A2)

「Can-do5 自分が見たスポーツの試合について話す」(A2)

1 聞く→言う

場面：中村らが試合を見に行き応援している場面と、後日試合について話す場面。

命令形は使用場面が限られるが応援のときには使える。応援のことばは説明上わかりやすいように男性と女性に分けて提示した。しかし実際には、使い方が性別によって厳密に分かれているわけではない。男性がよく使う表現を女性が使うこともあれば、その逆もある。

もし可能なら、サッカーの試合（できれば日本人選手が出場している試合）のビデオを見ながら試してみると楽しい。

2 話す

スポーツ観戦のあとの会話。試合の結果と感想などを簡単に言えるようにする。だれかの仲介でチケットを入手してイベントに行った時なども、このように簡単に事後報告すると感じがよい。

5. おわびのメール

「Can-do6 おわびのメールと返事のメールから、じじつと書いた人の気持ちを読みとる」(B1)

1 読む

テキスト：サッカーの試合に行けなかったワンから中村へのおわびのメールと、中村の返事

(1)の設問を考えながら、ざっと2つのメールを読む。メールの書式（件名、相手の名前、本題、自分の名前）から答えられれば、それでもよい。次に、(2)の設問①～⑤をざっと読み、正誤を考えながらメールを丁寧に読んでいく。(3)ではメールの件名として洗練された表現（「すみません」より「おわび」）を学習する。絵文字は、意味や効果を考える。また、マナーの問題として、キャンセルの電話に加えてさらにおわびのメールを送るか、学習者ならどうするか、どうされたいか話し合う。

2 文法 V-なければなりません / V-なきゃいけません（必要・義務）

文型としてよく見るのは「V-なければなりません」「V-なきゃいけません」であるが、会話では「V-なきゃいけないんです」をよく使うので、例文を2つ示した。聴解問題では会話でよく使われる（「V-なきゃいけないんです」）を聞く。文字で見ると「V-なければなりません」が多いので、活用の練習はこの形式を書く。「～までに」は軽く扱い、「まで」との使い分けは練習しなくてよい。

3 文法 イA / ナA+さ、Vま字（名詞化）

ナ形容詞は使わないものもあるので注意。

4 文法 と / で / へ / から / まで + の

「にの」は使わないので注意。

6. シンさんからのメール

「Can-do7 外出の報告のメールから、じじつと書いた人の気持ちを読みとる」(B1)

読む

テキスト：サッカーの試合観戦に行ったシンが、行かなかったキムに報告のメールを送る。

はじめに、状況説明（試合の後で、…）を読んで、メールの内容を推測する。キムは試合に行かなかつ

たことを思い出すこと。(キムのほかに、ワンもキャンセルしたので行っていない。)

次に、(1)と(2)の設問を考えながら、時間を決めて読む(1分を目安に)。シンが「おもしろさがわかった」と書いているのは、はじめは友人と同じものに興味がなくても、さそわれて、一歩踏み出してみたら世界が広がる場合もあるということ。最後に(3)で、気持ちを表すときによく使われる表現を学ぶ。初中級では、事実の伝達だけでなく、気持ちの伝達へ学習者の関心が向くようにしたい。「あなたはどんなときに…」という問いかけで、気持ちを表す表現を自分の体験に照らして理解すること。

トピック2 家をさがす

どこに住むか、どんな家に住むかは、その人の生活を反映している。また、職場や学校などに新しく入ってきた人(特に外国から移ってきた人など)に話しかける話題としても、家のことは相手への関心や配慮を示すものとして適当であろう。(『まるごと』シリーズでは、JFスタンダードのトピック「住まいと住環境」は、「入門」のトピック4以来2回目になる。)

1. 私が住んでいるところ

① 上から「都心に近い住宅地」「小学校」「駅前にある商店街」「マンション付属の駐車場」「公園」の5枚の写真を見て、自分が住んでいるところの形態(一戸建て、アパート、マンションなど→入門 トピック4)、近くにあるものを言う。ここに取り上げたことばは、住んでいるところを言うときによく使われるものだが、学習者にとって必要なものが他にもあったら、紹介する。

② 新出語いを文脈の中で選ぶ。トピック全体の導入となっている。

③ 家探しの条件となるもので、名詞と形容詞の組み合わせと反対の意味の形容詞を整理する。②で「交通が不便」、③では「買い物に不便/便利」と2つの助詞の使い方に注意(「交通が不便なところ」、「通勤に不便なところ」)のように、「Nが」はそのものが不便、「Nに」はその行動(目的)をするのに不便ということ。母語や媒介語で補足説明をしてもよい。

2. 家はもう見つかりましたか

「Can-do8 住むところをさがすのにだいじなポイントは何か話す」(A2)

1 聞く

場面：転勤などで新しい人を迎えた職場などでのおしゃべり。

新しく来た人の家探しはうまくいっているか、話しかけて交流する。会話に出てくる4人は各々、家を探すにあたって2つ以上の条件を持っている。条件だけでなく理由も言うが、最初は条件の聞き取りだけでよい。それからくり返し聞いて、条件とその理由まで聞き取り、どんな人(ライフスタイルや価値観)か、自分や周囲の人と似ているかどうかなど話してもよい。4番はペットが話題にのぼる。日本では基本的にアパートやマンションなどの集合住宅では、ペットを飼うことを禁止しているところが多い。

2 発見 文の終わり方

話しことばでは、「～けど」「～が」などで終わり、文末まで言わなかったり、文末の倒置(語句の入れ替え)がよく起こる。内容や声の調子から話し手がどんな内容を伝えようとしているのかも考える(「ま

だ見つかっていない」「いいところがない」など)。

3 話す

新しく来た人、まだそれほどよく知らない人に話しかける交流目的の会話なので、聞かれた方はくわしく言う必要はない。話しかける方もすぐに有益な情報を提供したりアドバイスをしなくてかと思う必要はない。「たいへんですね」とか「いいところが見つかるといいですね」(聞く方) など相手への配慮を示して会話を終わる。

ことばと文化

どんなことを個人的と考えるか、それを知り合ったばかりの人に聞くかどうかは、文化や個人によって異なる。家探しを話題にするときは、家賃や家族構成など個人的な事情に話が進むこともあり、注意が必要である。しかし、話の流れから聞きたいと思うこともある。そんなとき、どうするか、自分や周囲の人の言語行動をふり返る。◆参考：初めて会った人との話題 初級 1 (りかい L1 p21)

3. 週末はひっこしです

「Can-do9 自分が住んでいるところについて話す」(B1)

1 聞く

場面：p36 13番の石川とケイトの会話の数日後。石川は日本からオーストラリアに赴任してきて家を探していた。そのことを知っていたケイトは、石川の家探しがどうなったか、声をかけてみる。石川の家が決まったと聞いて、ケイトは「知っています」、「友だちが住んでます」と応えている。このようなことを言うことで、コミュニケーション上どんな効果があるか考えてみる(「かんきょうがいいところですよ」の「よね」はトピック 6 で取り上げる。)

2 メモ→話す

自分のことについて少し長く話せるように、話すことの要点をメモに書いて準備する。

「～というところ (に住んでいます)」は相手が知らない地名や場所を言うのに使う。知っている場合は「～に住んでいます」でよい。今住んでいるところが気に入っていなければ、理由を言って「ひっこしたいです」などと続ける。Can-do 会話の練習では、一人の学習者が会話の中心人物として自分のことを積極的に話す。聞いている人たちには質問や相づち、会話を進めていくための質問などをはさんでほしい。一問一答にはできるだけならないようにすること。準備したメモに書いていなくても、関連するいろいろなことを話してよい。

4. 私の家

「Can-do10 サイトのきじから、どんな家に住んでいるか、そのりゆうは何か読みとる」(A2)

1 読む

テキスト：家探しのウェブサイトの記事2つ。

個性的な生活と家の選択、ライフスタイルや価値観と家の様子を読み取るのが目的。

1回目は3つのイラストから2人の家が選べるぐらいのおおまかな情報をつかむように読む。リリーの部屋は「本」「コスプレの服」「せまい」がキーワード、八木の家は「自然」「広い」ということばが見つけられれば選べる。2回目は、①問題点と②住んでいる理由(選んだ理由)を読み取り、整理する。最後

に家に対する思い（リリーは条件に合う部屋があれば引っ越したいと思っているが、八木は今の家がいいと思っている）を確認する。学習者自身はこのような価値観をどう思うか話し合うとよい。

2 文法 イ A-く でも／なくても_____ ナ A/N でも／じゃなくても_____

後件には「いいです」「だいじょうぶです」「問題ありません」と続けて、あまり重視していない条件について言う。

3 文法 S1 ば／なければ、 S2

動詞 V-ばの形は初出。ナ形容詞と名詞は「～ならば」という言い方もあるが現代の口語ではあまり使わない。ここでは「～なら」を使う。

(1) 大事な条件について言う。「こまります」は大事な条件が満たされていない場合になるので、注意する（例「安ければ借ります」「安くなければこまります」）。

(2) 一般的には不都合な家でも、条件（行動）を変えれば住めることもある。

(3) 引越しを考えている4人の引越し先（都心か郊外か）と重視している条件を聞く。子どもがいる家族、子どもが成人した後の夫婦、高齢の親の呼び寄せ、都心での生活を楽しむ若者など、現代の家族のあり方や多様なライフスタイルを知る。学習者自身や学習者の国の傾向とも比べてみる。

なお、『まるごと』は初級2までに条件の表現を以下のように提示している。

・～たら（仮定条件）

：雨がふったら、ホールでぼんおどりをします。初級2 (L7)

服が着られなくなったら、妹にあげます。初級2 (L16)

・～と（助言、勧め）

：夜ねる前に音楽を聞くといいですよ。初級1 (L15)

とうふステーキにマヨネーズをつけると、おいしいですよ。初級2 (L4)

・～なら（相手を取り上げた話題を受けて言う。）

：野菜なら、このサラダがおいしいですよ。初級2 (L3)

5. くのさんは今

「Can-do11 サイトのきじから、仕事と住むところについて書いた人の考えを読みとる」(B1)

1 読む

テキスト：仕事と住居をめぐるライフスタイルをテーマにしたウェブサイトの記事。

読む前に、イラストや写真を見て、くの（イラストの男性）はどこに住んで、何をしている人か推測する。1回目は1分間を目安にざっと読み、(1)の内容の整理（事実を時間順に並べる）をやってみる。「東京で…ITの会社」など根拠になる部分に線を引いて確認してもよい。タイトル「東京じゃなくても」はそのままでよいが、後ろにどんなことばが入るか考える。単に「元気になった」「ストレスがない生活」ではなく、従来「東京だからできる」「東京じゃなければ難しい」と思われていたことが、実は今はそうではないということがポイント。また、ITの発展は、ものや情報だけでなく、仕事の機会の点でも都市と地方の差を少なくしていることにも着目したい。

2 話す

住む場所を決める条件は、人さまざま。職場や家族の近くがいいという人もいる。ライフステージ（人

生の段階)で住むところを変える人もいる(出身地に戻る U ターン、都市出身でも地方に移り住む I ターンなども)。自分の気持ちや経験、このトピックの聴解や練習問題の中に出てきた人たちを思い出して、印象に残っていることを話す。

トピック3 ほっとする食べ物

「食べ物」は『まるごと』入門以来お馴染みのトピックだが、ここでは、食べ物と人の気持ちに触れる内容になっている。海外で生活する外国人にとって食生活は死活問題。異文化の中にあっても母国の食べ物を口にすると、ほっとできる。このトピックではそのような心情とそれを知ってよりそう現地の友人との会話、さらに食べ物を通じた異文化交流を意識している。トピック最後の読解テキストにはトピック全体を表すキーワードとして「食は文化」という表現を出したが、このことばはトピックの1時間目に提示しておいても良いかもしれない。

1. 食べ物

ほっとする食べ物や食事とはどういうことか、2枚の写真から考えてみる。写真左は家で家族が食卓を囲んでいる。食べ物も、みそ汁、白飯、てんぷら、焼き魚など家庭で作ったごく普通のもの。写真右は稲穂が実る田んぼを背景に、白米のおにぎりをほおぼる男性。日本では古来から稲作が行われており、米は重要な食糧である。「ほっとする」気持ちについては、どこで／どんなときに／何を／だれと食べるときの気持ちかという観点から考えてみるといいだろう。

① 各国の庶民的な食べ物の代表を4つ挙げた。学習者は食べたことがあるか、好きな外国の料理はあるか、話してみる。

② ①に続いて、今度は学習者の国と学習者自身について話す。食べ物や料理はどんなときだれと食べたか、どんな気持ちだったか、などその人の思い出や心情とつながっていることが多い。ここでの話し合いではそれを引き出したい。後続の活動に備えて、学習者にとってほっとする食べ物やないと困る食べ物が何か、聞いてみるのもよい。

①②③の食べ物は、日本なら次のようなものになるだろう。

①日常的にふつうに食べるもの：みそ汁、白飯、日本茶、ラーメン、カレー、野菜の煮物、焼き魚など

②ごちそう、ぜいたくな食べ物：「私の国では／私はこんなときにはこの料理を食べる」というようなもの。例：日本の正月のおせち料理、何かの記念日に会席料理と日本酒、フランス料理のフルコース、家族の誕生祝に手作りのローストビーフとシャンパン、など

③子どものときから食べているもの：個人的経験に基づくものでよい。例えばその土地の特産物や、母親の手作りのものなど。

③ 表現の言い換え。下線は新しい語で、選択肢は既習表現である。イラストをヒントにすること。④の皿の上に残っているものは野菜(人参)。野菜がきらいな子どもは多いと言われる。

2. 日本の食べ物にはもうなれましたか…

「Can-do12 外国の食べ物についてどう思うか話す」(B1)

1 聞く

場面：職場、学校、何かの集まりなどでお茶を飲んだり食事をしたりしている場面で、日本に住んでいる外国人と、その知り合い／友人である日本人との会話。外国人が現地での生活にもう慣れたか、だいじょうぶか、ちょっと気にかけて聞いてみることは、人間関係を作る上でもプラスに働くだらう。

ここでは日本人が話しかけ、外国人は日本の食べ物についてコメントするが、否定的なことは言わずに、大人の交流会話を展開する。①②は日本人が食事に誘うという交流的な流れになっている。写真を利用して、日本で日常的によく食べる庶民的な食べ物や、家庭でもよく作る食べ物を紹介する。②はリリー（若い女性）に対して男性が「うちに食べにきてください」と誘っているが、学習者の文化によっては抵抗があるかもしれない。奥さんやお母さんに作ってもらう、リリーだけでなくほかの人もいっしょに行くなどと、必要なら補足説明をする。また、**話す**にもつながるが、自国の料理の味が外国人にとってどうなのかということも話し合うとよい。

2 発見 否定疑問文 [名／イ A／ナ A] ないですか／ V ませんか

否定文の形として『まるごと』では、名詞・形容詞は「～ないです」動詞は「ません」を使用してきた。ここではそれを使った否定疑問文に気づくことがねらい。それに対する答え方は、「だいじょうぶです」などこの文脈で自然な表現を提示した。「はい、～ません」「いいえ、～ます」のような答え方の練習をする必要はない。

3 話す

場面を学習者の国におきかえて練習し、現地の日本人との交流に役立ててほしい。また、前述のように否定疑問文に対する答えは、「はい／いいえ」である必要はない。文脈に合った、交流に役立つ表現を練習する。

ことばと文化

外国の食べ物で苦手なものについてどうコメントするか、という問いかけ。苦手だということを知ってもらうために、感じよく言うにはどうするか考える。食事は健康や体調とも関連付けやすいので、bのようなこと（胃が弱いなど）も言い訳にしやすい。

3. 夜はうちで食べてます**「Can-do13 自分の食生活について話す」(B1)****1 聞く**

場面：場面が外国（タイ）に変わり、**2**と日本人と外国人の立場が反対になっている。ここでは仕事でバンコクに赴任している川井（日本人）が、スリポーン（タイ人）に生活の様子を話すという設定。2人は職場近くの店で昼食をとっている。

スリポーンは川井の食生活を気遣って、夕食はどうしているか聞く。スリポーンはことば数は少ないが、その質問が会話をリードしている点に気づいてほしい。川井がスリポーンを自宅での食事に招くことは、p52**3**(2)と共通している。入門、初級1、初級2で取り上げた食べ物トピックと同様、いっしょに食べることは交流である。「うちで作って食べてます」は「いえで」と言ってもよい。「ほっとする」はこのトピックで人の気持ちを表すためにだいじなことば。「私にもてつだわせてください。」は定型表現として導入するので、使役形を説明する必要はない。

2 発見 接続助詞「_____から」「_____ので」

初級 1、初級 2 では前件文末の文体を以下のように制限していた。

「から」初級 1 (L3) S1 (丁寧形) から S2

「ので」初級 2 (L3) S1 (普通形) ので S2

「初中級」では、丁寧形、普通形のどちらも使えることに気づくようにする。

3 メモ→話す

会話では学習者自身の食生活について話す。どこで食べるか、どんなものを食べるか、食べたいか、心がけていること、などをその内容に入れること。

4. ないとこまる食べ物

「Can-do14 サイトのきじから、書いた人にとってないとこまる食べ物とはどんなものか読みとる」(A2)

1 読む

テキスト：海外生活についてあれこれ話し合うサイトの記事 2 つ。

日本人にはラーメン好きでこだわりを持つ人が多い。麺類は多くの国にあるので、比較しやすい食べ物の 1 つ。写真は左から日本のラーメン（札幌ラーメン）、カップラーメン、韓国の冷麺、ベトナムのフォー。「ラーメンみたいな食べ物」は和田さんにとって結局、ラーメンではない。「みたい」は似ているが同じではないということ。

リチャードさんのほうは、ベジマイトがなつかしい祖国オーストラリアの味であるという点が内容上のポイント。食べ物は外国にいる人の祖国への思いを満たすものでもある。写真は左がベジマイトで、右はブルーベリージャム。

2 文法 N2 みたいな N1 / N1 は N2 みたいです

「みたい」は話し言葉でよく使われる。ここでは「みたい」の意味用法のうち、例示・比況を取り上げる。

- (1) 聴解はイラストが示すように、3 人の会話になっているので注意。外国の食べ物やよく知らない食べ物の外見やにおいなどについてコメントするときの表現として「みたい」を使っている。
- (3) 3 つの食べ物について何みたいだと思うかは学習者の想像力にまかせる。学習者の語いが足りない場合は教師が補足する。②スターフルーツは日本でとれる果物ではなく、熱帯産。

3 文法 否定形 ~ないです / ~ありません

否定文には「ないです」と「ありません」の 2 つの形がある。会話では前者が多い。『まるごと』は名詞、イ／ナ形容詞の否定形には前者を、存在動詞「ある」の否定形は後者を使用してきた。ここでは入門、初級 1、初級 2 を通して未習だった形を示す。

- (1) 聴解会話を通して、「~ないです」、「~ありません」のどちらも使われること、使っていいことを確認する。
- (2) 各問、選択肢にないほうの否定形も使えるので、確認すること。なお、この会話文の場面と内容は p48 **3** の続きになっている。

5. 日本での食生活

「Can-do15 サイトのきじから、食生活について書いた人の考え方を読みとる」(B1)

1 読む

テキスト：海外生活についてあれこれ話し合うサイトの記事。

「食は文化」がポイント。クマールは食欲を満たすだけでなく、日本の文化について知るために日本料理を食べる。同時に食はアイデンティティにもつながる。彼の場合、ほっとする料理は祖国インドのカリーである。そして、友人を自宅での食事に招待して自国の文化を紹介する。このようなクマールの行動の背景にある考え方が「食は文化」ということである。(2)の答えを一言で言うと「食は文化」という表現になるが、具体的にどういうことか言えるようにしたい。例えば、「食は文化」だから、日本料理を食べて（日本料理を通して）日本について知りたい、カリーを友だちに食べてもらって（カリーを通して）、インドのことを知ってもらいたい、など。

※「カリー」：日本で一般的に考えられている「カレー」と本場インドのものを区別したいときに、「カリー」と言うことがある。

2 話す

このトピックで学んだことを思い出して、「ほっとする食べ物」について自由に話し合う。

トピック 4 訪問

滞在している国で、知り合いや友人の家を訪問するという設定。その知り合いもまた訪問客の出身国に滞在した経験がある自分がかつて生活した外国から客が来るとなると、やはりその国での思い出は話題になるだろう。

1. 知りあいの家を訪問する

「Can-do16 客を家の中にあんないする」(A2)

場面：日本に滞在中の外国人2人が知り合いの日本人の家を訪問する。

外の門にインターホンがある場合は、まずそこで「ごめんください。〇〇(名前)です。」ということが多い。写真では見えないが、日本の家は玄関に上がり框(段差)があり、中に入るには靴を脱いでスリッパ(客用が用意されている)に履き替える。ただしスリッパは板張りのところ(玄関、廊下など)と洋室でのみ履くもので、畳の部屋に入るときには脱がなければならない。2枚目の写真は手前男性以外はわかりづらいが、4人ともスリッパを脱いだ状態になっている。訪問先の家では素足ではなく、靴下を履くこと。なお、p55「日本の家で」は、訪問のときの一連の動作を表現とイラストで紹介してあるので、マナーの説明に利用するとよい。

- 1 玄関先から客間に通されるまでの定型会話。敬語は定型表現として扱う。
- 2 家族の呼称を文脈で選ぶ問題。問題文は実際に会話で使える文になっている。
- 3 会話の話題について。一般的によく話すことやあまり話さないことはどんなことか、相手との親しさによって、何かちがいがあるか。

2. うちの家族です

「Can-do17 家族を客に紹介する」(A2)

1 聞く

場面：日本滞在中のカール(アメリカ人)が、会社の友人のようこの家に招かれ、そこでようこの家族を紹介される。4つの会話はカール到着後の、家の中。スリッパやドアの音など背景音を入れてはいるが、音声だけで状況がわかりづらいかもしれないので、集中して、かつ状況を想像しながら聞いてほしい。会話①ではようこが「しょう、こっちに來なさい。」と言っている。命令・指示を表す「來なさい」は学習者が初めて聞く表現だが、聞き飛ばしてよい。会話④ではペットについて猫が登場する。最近は様々な種類の猫、犬が飼われており、飼い主はペットにいろいろな名前をつけている。そんな中で動物をすぐに連想できる名前は（この名前だけを聞いて動物の種類がおおよそ想像できるもの）次のようなものである。猫「タマ」「ミケ」「ミーちゃん」、犬「ポチ」「シロ」「チビ」、小鳥「ピーちゃん」。

2 発見 家族のよび方

自分の家族（私の祖母は90さいです。）、第3者の家族（田中さんのおばあさんは90さいです。）の呼称については既習。ここでは、家族間で使われる呼称について学ぶ。1人の人物が複数の呼称で呼ばれることになるので、よく確認すること。

- ・家族間で使う呼称として、名前を使う意外に、家族の関係性を表す語も使う。

a（発話者ようこが、めぐみ本人に）「お姉ちゃん、なにやってんの」、

b（発話者ようこが、むすこのしょうに）「しょう、お姉ちゃんは（どこにいるの）？」

- ・家族関係の呼称は年長の者が年少の者に対して自分自身を表すのにも使われる。

会話① ようこ→しょう「しょう、こちら、カールさんよ。お母さん（=私）の会社の友だち。」

- ・その他の例 かずお(父)→しょう(息子)

「しょう、お父さん（=私）のめがね、見なかった？」

めぐみ(姉)→しょう(弟)

「しょう、ちょっと待ってて。今、お姉ちゃん（=私）が見てみるから。」

3 話す

家族呼称に気をつけながら練習。学習者がバーチャル家族になってやってみるとおもしろいだろう。名前、家族関係、簡単な情報（英語を習っている、来年受験、など）を決めておくこと。ペットの動物役は、泣き声（猫：ニャー、ミィー 犬：ワンワン、など）も知っておくと楽しい。

ことばと文化

発見で扱った呼称のほかにも、家族を呼ぶのにどんな言い方や表現があるか話す。bのように、妻を名前で呼ぶ代わりに「おい」「ちょっと」など呼びかけ表現を使う夫もいる。妻もまた「ねえ」「あのさあ」などと呼びかけることがある。

3. 外国生活の思い出

「Can-do18 外国などで生活した経験や思い出について話す」(B1)

1 聞く

場面：アメリカ人カールが訪問した山本家は、かつてアメリカに滞在していた。そのことは山本家とカ

ールが共有できる話題でもあり、山本は写真を見ながらアメリカでの思い出を話す。会話には表れていないが、ようこがカールを家に招いたのは、カールが懐かしいアメリカから来た青年だからだという背景を持たせてある。同様の背景は後続の読解（アニスのメール）にもある。

ようことかおは、客であるカールに対しては丁寧体、夫婦間では普通体を使って話している。音声と簡単なイラストしかないの、だれがだれを見ながら話しているか、状況を想像しながら聞いてほしい。役割を決めて話している相手を意識しながら（目線や体の方向など）会話テキストを読んでみるといいかもしれない。夫婦の間では普通体が使われている。その中で、ようこ「わすれられないけしきだよね。」の文末「...だよね」（共有情報の確認）は男女どちらも使用する。女性話者に終助詞をつける場合「わ」を用い、「...だったわね」とすることもできるが、ここではことさらに「わ」で女性らしさを強調することは避けた。

2 発見 ていねいたい・ふつうたい 1

丁寧体・普通体は「発見」で3回にわたって取り上げるが、初中級での目標は実際に使い分けることではなく、日本語は文体に使い分けがあるという知識を持ち、自分に向けられた発言かどうかがわかるようになることである。複雑で難しいという印象をできるだけ学習者に持たせないように指導してほしい。

3 メモ→話す

実家を離れてほかの町や国に暮らした経験について、学習者自身が話す。

学習者に海外滞在経験がない場合、短期間でもよいので故郷を離れてどこか別のところに滞在した経験としてみる。そのような経験もまったくない学習者の場合は、旅行した地方（町、村など）について話してもよい。

4. 友だちの家

「Can-do19 サイトのきじから、書いた人が友だちの家を訪問した日のことや、そのときの気持ちを読みとる」(B1)

1 読む

テキスト：海外在住日本人がそこでの生活を記録したブログ。ここではインドネシア在住の日本人坂本ひかるのブログという設定になっている。テキストが長いので、音声ファイルを利用して、学習者があきないように授業を進める。

「Nを(私に)くれます」は初出。このあと「Vてくれます」をとりあげるので、「くれる」は文法項目というよりも、むしろ語いとして扱うにとどめ、説明が複雑にならないようにしたい。

「A(人)がB(人)にC(物)をあげる」という構文で、Bが「私」のとき、「あげる」ではなく「くれる」になる。

AさんがBさんにプレゼントをあげます。

Aさんがわたしにプレゼントをくれます。

(3) テキスト理解の問題では、もし自分が坂本さんだったらどんなことが嬉しいか想像して、いくつでも答えてよい。テキスト文面から、アニスと家族の行動だけでなく、なぜそうするのかという気持ちを考えてほしい。事実関係だけでなく、アニスと家族のあたたかい気持ちがわかれば、坂本の立場で感じる嬉しさもよりよく理解できるだろう。

例1)「部屋に生け花や日本のおみやげがきれいにかざってありました。」

なぜ?→アニスは日本にいたし、生け花も習っていたので、日常的にそういうことをしているから。 + 日本人の坂本さんにとって日本のものが懐かしいだろうから。/坂本さんとの会話が弾むだろうから。/自分と日本の関係について坂本さんにもっと知ってもらいたいから。

例2)「帰るとき、アニスさんがお母さんの手作りのおかしをくれました。」

なぜ?→家族と離れて外国に住む坂本さんがさびしくないように、母の手作りのものをあげようとアニスさんとお母さんは思ったから。

なお、漢字「家」の読み方は基本的に次のように考えている。

いえ：住居（たてもの）、ほかの人の家（アニスさんがいえによんでくれました。）

うち：自分が住んでいるところ（よかったら、私のうちに遊びに来ませんか。）

2 文法 N（ひと）は/が V-て くれます 利益・恩恵を（Nが話者に）与える

だれか（N）が話者（私）のためになることを自発的に申し出る/行うとき、「V-て くれます」を使ってその行為を表す。これに対して、次の項目「V-て もらいます」は、話者（私）が自分のためにだれかに頼んだ結果として受けた行為を表す。

(1) 会話では、坂本のために、アニスから自発的に親切な行為を申し出ていることを確認すること。

(2) 会話聴解はないが、①～④がすべて坂本の自発的な行為であることを確認する。想像して会話を作るとすれば、例えば②は以下のようなになるだろう。

②坂本：（市場で買い物をしてアニスの荷物が増えたのを見て）

アニスさん、てつだいましょうか。にもつ、持ちますよ。

アニス：ああ、すみません。じゃあ、1つ、お願いします。

ページ最後の問いかけ「●さいきんうれしかったことを言いましょう」は、だれかが学習者に対して自発的にしたことを言うようにする。

3 文法 N（ひと）に V-て もらいます 利益・恩恵を（Nから）受ける

「V-て くれます」が誰かの自発的な行為であるのに対して、「V-て もらいます」はほかの人に頼んだ行為を表す。この点を確認した上で、(1)に入る。 (2)の会話では坂本またはアニスが頼んでいることがわかるスクリプトになっているので、この点を確認する。

5. 外国からのお客様

「Can-do20 訪問客へのおれいのメールから、書いた人の気持ちを読みとる」(B1)

テキスト：坂本を招待したアニスが、後日坂本に対して書き送ったメール。

海外に長期滞在して自国にもどると、海外での生活が遠くなるような気がするという人は多いのではないだろうか。自分との関わりの深い国からの友人を迎えて、自分がまたその国とつながった気がするというアニスの心情について、学習者はどう思うか、考えてみてほしい。学習者の中には日本やほかの国に滞在経験がある者もいることと思う。そのつながりを保つためにしていることが何かあれば、クラスで話してもらおうといいかもしれない。

トピック5 ことばを学ぶ楽しみ

初級1（トピック5）で、自分の外国語学習の経験や外国文化との接触について振り返った。ここでは、ことば（外国語）を学ぶことはなぜ楽しいのか自己理解を深めたり、今後も自律的に学習を進めていけるように学習方法のアイデアを交換したりする。外国語を学ぶことの意味づけ（視野の広がり、文化的豊かさ、自分の成長実感、通じる喜び・つながる喜び、など）も再確認したい。

1. ことばを学ぶ目的と方法

- 1 写真は、日本国外でも行われている日本語使用の場。目的でもあり方法でもある。
- ① ドラマコンテスト（タイ）
 - ② インターネット電話で海外にいる家族や友人と話をする。
 - ③ 会話クラブ（ドイツ、国際交流基金ケルン日本文化会館主催）。お花見シーズンなので公園で実施。
 - ④ JLPT のバナー（ブラジル）と、会場の様子（韓国）。
- 2 外国語学習の方法について述べた文。文中（ ）に語を入れたら、文全体の意味を確認し、内容についてコメントを言い合うとよい。
- 3 目的と方法について関連することばを整理。自分の目的と方法を振り返って、クラスメイトと共有してみてもよい。

2. どうやって勉強していますか

「Can-do21 外国語を勉強する方法について話す」（A2）

1 聞く

場面：田中は日本企業のイギリス支社で働いている。英語がなかなか上手にならないのが悩み。支社のスタッフ（ナターリヤ、エドワード、タイラー）や友だち（エスター）は日本語が上手なので、勉強方法を聞いている。

ナターリヤの「さあ…」（即答をさけて考えるとき）や、田中の「へえ」（感心したり、驚いたりするとき）のあいづちにも注意。

2 発見 「___ように」

「___ように」は初級2（L18〔変化〕）、（L15〔習慣的に心がけていること〕）、（L10〔目標・目的〕）の3種類が既習。

3 話す

はじめに「私の勉強方法」を3つ書いて準備し、それをもとにペアで話す。会話冒頭の「日本語、上手ですね。」と「日本語、上手になりましたね。」の違いを知って使うこと。後者は、相手が日本語をあまり上手に話せなかったときと比べている。「いいえ、そんなことないです／まだまだです／ありがとう」は、意味を理解した上で選んで使う。「それで…んですね」（聞いたことから自分の考えを言う）はやや難しいので、「そうですか」「私もやってみます」でもよい。

ことばと文化

外国人の友だちが自分の国のことばで話しているときに、ことばの使い方をまちがえたらどう反応するか、話し合う。答えは決まっているわけではないので、選択肢 a、b、c 以外にも自由に考えてよい。ま

た、条件をつけてもよい。例えば、「楽しいコミュニケーションのために会話するのだから、意味がわかれば、何もしない」など。どう反応するかだけでなく、なぜそうなのか考えることが大事。

3. 見習わなきや

「Can-do22 外国語をクラスで学ぶ楽しみについて話す」(B1)

1 聞く

場面：さいとうも田中と同じ日本企業のイギリス支社で働いている。さいとうが先輩。さいとう、田中と田中の友だちのエスターがコーヒーショップのようなどころでおしゃべりしている。

(1)はまず3人(さいとう、田中、エスター)の関係を図で確認してから、会話を聞く。スクリプトは見ない。(2)で会話の中に入る表現を入れて、話の展開(談話)がどのようなになっているか考え、再び音声を聞く。さいとうが「田中くんも、エスターさんを見習わなきや。」と言っているように、会話では「見習わなきや(いけません)」と省略されることが多い。

2 発見

さいとうら3人の関係性とことばの使い分けを整理する。

- ・さいとう→田中(普通体) [理由: 田中は後輩]
- ・田中→さいとう(丁寧体) [理由: さいとうは先輩]
- ・田中→エスター(普通体) [理由: 二人は親しい]
- ・さいとう→エスター(丁寧体) [理由: 二人はまだそれほど親しくない]

初中級での目標は、日本語は文体に使い分けがあるという知識を持ち、自分に向けられた発言かどうかができるようになることであり、実際に使い分けることではない。複雑で難しいという印象をできるだけ学習者に持たせないよう指導してほしい。

3 メモ→話す

「クラスで学ぶことはどうですか」という問いかけは、クラスメイトといっしょに学ぶ楽しみやメリットなどを想定している。必要ならば教師が質問してアイデアが出てくるように助ける。人によってはネガティブなことが出てくるかもしれないが、その場合はそれでもよい。

<クラスで勉強する楽しみ 例>

「学生に戻れる。会社や家族のことを忘れられる」

「クラスの人日本語の発話や間違いから学べる」

「毎日の生活では会わない人と会えて新鮮」

「同じ趣味(日本語や日本の文化)の人と友だちになれる」

また、ほかの外国語の学習経験についても大いに話してほしい。いろいろな外国語学習経験を振り返って、その意味を肯定的に再評価できるようにしたい。

4. しょうらいの計画

「Can-do23 サイトのきじから、外国で日本語を学ぶ方法を読みとる」(A2)

1 読む

テキスト：外国語教育学習者のためのサイトの記事2つ。

読んで情報を整理する。海外では日本語を使う場は少ないがインターネットを使う方法もあるし、目的

も留学や企業に勤めるだけではない（マンガカフェを開く、など）。

2 文法 V-(よ)うと思っています

意向形は新出。ここでは自分にとってかなり現実的な目標・計画を話すのに意向形を使っている。文末「～ようと思います」が話者の決意・決心を表すのに対して、「～ようと思っています」は一定期間あためている計画を表わしており、こちらを練習する。イラストの人物は性別と年齢がわからないようにするために、グレーのシンプルな人物になっている。

①タイ語の手紙を翻訳するボランティアは、タイの貧しい子どものために教育資金を援助している日本人に、その子どもが書いたタイ語の手紙を日本語に翻訳する。

3 文法 V-そうです/V-そうな N

形容詞を使った表現（「イ A・NA+そう」、外見に基づく推測＝様態）は初級 1（L12）で既習。ここでは動詞を扱う。動詞の性質によって、様態（読めそうな本）、可能性（いい成績がとれそう）の意味になるので注意。

4 文法 数量+も

話者が数をどうとらえているか（多いと思っているか少ないと思っているか）、「も」「だけ」「しか」を使って、表現する。

5. カーラさんへの手紙

「Can-do24 友だちのメールから、その人の外国語の勉強の経験と今の気持ちを読みとる」（B1）

テキスト：仕事でイギリスに滞在中のさいとうから、友人のフランス人で日本にいるカーラへのメール。さいとうはイギリスにいるのに、なぜフランス語を勉強しようとするのか疑問に思われるかもしれない。長期滞在者の中には、現地の人と一緒に何かを学ぶ機会として、また、いろいろな事情（現地語の能力が十分ある、以前からその外国語を学習している、次に行く国の外国語を学ぶ必要がある、など）で、現地語以外の外国語を勉強する人も少なくない。外国語学習は、その人の人生の中で興味が変わってくるので、やめたり、再開したり、違う外国語を勉強してみたりということがあがるが、言語の学習はやめても、その国に関心を持ち続けることは多い。そのような生涯学習としての外国語学習観を肯定的に捉えたい。

トピック 6 結婚

友人や知り合いの近況、人生のいろいろな出来事（結婚、出産、入院、失恋、転勤、親しい人の死別など）を話題にして話す。そのとき、本人や周囲の人はどんな気持ちで何をするか考える。

1. 人生いろいろ

1 写真を見て、人生の出来事とその言い方を確認する。

①和装の国際結婚のカップル。背景は神社。②赤ちゃん誕生。③けがで入院。入院患者用のねまきを着て、車いすで病院内を移動する青年。④仏式の葬儀のための祭壇。中央には個人の遺影と遺体をおさめた棺が、周りには花と花をおくった人の名前を書いた札が飾ってある。手前の長いテーブルは焼香台しょうこうだいと

いい、参列者はここで一人ずつ焼香する。葬儀が終わってから、遺体は火葬され、その骨を入れたつぼが墓におさめられる。墓は「渡辺家之墓」というように家の墓であることが多い。

② 人生の出来事を経験した人に対して、周囲の人々はどんなことをするかを考え、ことばを選ぶ。

③ だれかと知り合って結婚するまでのプロセスは、個人、社会、時代によって異なる。結婚する相手を親や家族に紹介するタイミングなども合わせて話し合ってみるとよい。いわゆる「正しい答」は、この問いには馴染まないため、答えは記載していない。

2. ほんとうですか

「Can-do25 友だちの最近のニュースについて別の友だちと話す」(A2)

1 聞く

場面：共通の友人や知り合いの近況を話題にして話す2人（パウロと森）。

いわゆる「うわさ話」ではあるが、ここでは悪意のある陰湿な話ではなく、日常的であり暗くない内容にした。4つの会話を聞く前に（1）の選択肢の絵を見て、どんな出来事か確認すること。

2 発見

「(感情の形容詞/V-ている) でしょうね」 他人の気持ちを推測して言う。

「～ようと思うんですが」 計画している行動について、相手に意見を求めたり、提案したりするときに使う。

3 話す

学習者にとっては個人的な事実を正直に話すことに抵抗を感じたり、具体的な情報がない場合もあるだろう。そのような場合は、p78の練習で聞いた会話の内容を使ってもよいし、「来月、〇〇さんがすしバーをオープンする」、「有名人と結婚する」など、学習者自身で話を作ってもよい。「私もいっしょにお願いします」という表現は、お祝いやお見舞いなどを、ほかの友だちといっしょにやりたいという意思表示。

ことばと文化

情報の内容に驚いたとき、どのように反応するか。驚きの程度によって、表現と言い方が変わる。声が大きくなるのは言語間で共通。「本当ですか」は驚きの表現と考える。ことば通りの意味にとらえて、疑われていると思い、怒る学習者もいるらしい。「えっ、うそ！」などは、相手や場を選んで使う。

3. おめでとう、お幸せに！

「Can-do26 友だちについて聞いた話をほんにんにたしかめる」(B1)

1 聞く

場面：森からのりかの結婚の話聞いたパウロは、その後3人で食事をするようになった。

音声を聞きながら、パウロの質問を彼の心情と合わせ見たり、森がどういう性格の人か想像したりするとよい。

2 発見 終助詞「よ」「ね」「よね」

「～よ」話し手から聞き手に働きかけ（情報提供、アドバイスなど）をするときに使う。

「～ね」聞き手への確認や共感を示すときに使う。

「～よね」聞き手の方がよく知っていたり、主導権を持っていることについて確認したり共感を示したりする。

4. 結婚式のスピーチ

「Can-do27 友だちのために、メモを見て結婚式のスピーチをする」(A2)

このトピックではメモを準備して話す活動を、友人の結婚式のスピーチとする。メモと呼んでいるが、実際には簡単なスピーチ原稿とみなしてもよい。

まず、パウロのメモをよく見て、目的や聞き手、場面を特定したスピーチの談話パターンを知る。次に、学習者自身の情報や内容をパターンの中に入れて、メモを書いてみる。このレベルでは、創造性を発揮して無理に長くしようとはせず、自分の内容に合わせてことばを入れ替える程度でよい。メモを見ながら話すスピーチでは、速さよりもわかりやすさが大事。急がず、はっきり話した方がよい。特に、キーワードや固有名詞には注意。Can-do27 の音声ファイルには、パウロのスピーチに加えて、ロザナ(女性)のスピーチも収録してあるので利用してほしい。

5. ふたりの気持ち

「Can-do28 サイトのきじから、結婚するふたりがどんな結婚式をしたいか読みとる」(B1)

1 読む

テキスト：結婚式場のウェブサイトにある、結婚式の準備をしているカップル（のりかとジョージ）へのインタビュー記事。

ここでは、結婚式に対するのりかとジョージの考え方の違いを読み取り、どんな結婚式になるか推測する。まず、それぞれの結婚式に対する考え方の違いに着目して読む。読んだ後で、(1) a～d がのりかとジョージのどちらの気持ちを書いたものか選ぶ。そしてもう一度読んで、ふたりの結婚式がどうなるか（どちらの考えが通りそうか）考えて、話し合う。学習者自身の考えや経験談なども出てくるとよい。なお表記上、ここでは「2人」ではなく「ふたり」としている。人数を数えるのではなく、「カップル」の意味合いを強調するためである。

2 文法 V-て あげます

ほかの人のために何か利益になることをするときを使う表現。ただし、大人同士の会話の場合、その人に対して直接「～てあげます」と言うと恩着せがましく印象が悪いことがある。家族や親しい間柄でなければ、本人に直接言うのは避けた方がよいだろう。

- (1) ここではのりかとジョージの友人たちが、のりかたちに直接言うのではなく、だれかの質問に答える形で「～てあげます」を使う。「～てあげたいです」「～あげようと思います」など文末にバリエーションがあるが、これらは「～てあげる」の押し付けがましい感じを和らげる効果がある。身近な人の結婚を祝福する気持ちがどんな行動につながるか、内容にも着目する。
- (2) 既出（トピック 4）の「～てくれる」「～てもらう」と合わせて練習する。だれが、だれのためにするかを考えて選ぶ。③「N のあと」(結婚式のあと、ジョージにきれいな島につれていってもらいます。)は、「N のあとで」という形で既習（初級 1 りかい L8）。助詞「で」は、前後の対比が必要ないときにはこのように省略できる。

3 文法 V-なくても いいです/だいじょうぶです

譲歩や必要がないことを表す。トピック 2 では、形容詞と名詞を使用して、類似文型を取り上げている。聴解の内容は、結婚式に関する一般的なマナーや慣習の確認（招待状やご祝儀のお金、招待客の服装、結婚式の場所）を話題にして、必ずその通りにしなければならないのかを話しているもの。なお、会話の中で、義務を表す表現は「V-なきゃいけません」の形式をとっている。

写真右は祝儀袋と祝い金。友人の場合は 3 万円程度で、これはホテルの披露宴で供される食事と記念品（おみやげ）の代金に相当すると言われる。

6. 結婚相手はどんな人？

「Can-do29 結婚についてしらべたけっかを読んで、だいじなポイントをりかいする」(B1)

1 読む

テキスト：ウェブサイトなどで読める、結婚に関するアンケート調査の結果報告

ここでは、内容を予測してから、それが合っているかどうか確認しながら読む（トップダウンの読み方）。まず、結婚に関する日本人の考え方について、友人から聞いたり何かを読んだりして知っていることがあれば話す。それから(1)の自分の答えを考え、その答えをチェックするためにテキストを読む。(2)は、記事の内容を理解し、さらに(1)の答えに沿って解釈することを求める。ゆっくり落ち着いて考えること。

「(交際している相手との) 結婚を決めた理由」は男女で違いがある。しかし、結婚したい相手に求めることは男女共通していることが、最後の一文から理解できればよい。「ほっとする」は、トピック 3 「ほっとする食べ物」でも使われている。「いっしょにいて、ほっとする」とはどういうことか、あるいは「いっしょにいて、ほっとする人」とはどういう人か、考えてみるといいだろう。

2 話す 結婚は個人的なことだが、結婚に関する社会全体の傾向やその変化もまた話題にできる。気をつけたいことは、一般的なイメージが全ての人に当てはまるわけではないということ。学習者自身や周囲の人のことを考えながら、そのことに気づけるとよい。

トピック 7 なやみ相談

人間に悩みはつきもの。悩みは日常生活のちょっとしたトラブルから人生を左右する深刻な問題まで幅広い。このトピックは、悩みの内容だけでなく、悩みそれ自体に人がどう関わるかという視点をまじえて進めていく。

1. 人はなやむ

「Can-do30 ほかの人の心配なようすについて話す」(A2)

1 聞く→話す

場面：職場や学校の友人の様子がいつもと違うのを見て心配する。

写真は悩む人たち。表情、動作、年代、性別、その人の社会的役割など写真でわかることから、どんな問題があると思うか想像し、また、そんな人を見かけたときに（その人ではなく）別の人との間で行う簡単なやりとりを練習する。ほかのやりとり Can-do と違って、ここは短い表現だけで成立する Can-do

会話なので、音声聞き、発話練習をするという手順で進める。その際、写真を利用すること。

さらに学習者自身は悩みがあるときどうなるか（どうするか、ではなく）、日本語で表現してみる。掲載例以外にも次のようなことも考えられる： 笑わなくなる、(表情が)暗くなる、静かになる、食欲がなくなる（食べなくなる）、つきあいが悪くなる、など

② 悩みを解決する方法にはどんなことがあるか、考える。

③ 悩んでいる人に対してどうするか、考える。

④ イラストはお金の貸し借りと、失業中で求職情報を見る男性の2枚。c「人間関係」はいろいろな内容にあてはまるジャンル。②③⑤の答えとした。「生活のなやみ」はさらに意味が広いが、一般に、経済的に苦しい状況によって起こる様々な生活上の問題と捉えることが多い。

2. 最近、元気がないですね

「Can-do31 元気がない人にこえをかける」(A2)

1 聞く

場面：職場や学校などで、いつもとちがって元気がない友人（本人）に声をかける場面。

4つの会話の中で、声をかける人は、相手の反応によって会話の流れを変えている。相手が大丈夫だと言ったのに2回繰り返して「ほんとに？」と言うのは若干しつこいという印象もあるが、それだけ心配しているのだと解釈してほしい。「ほんと(う)」「だいじょ(う)ぶ」は発音上、長音(う)を省略することがよくある。音声と巻末のスク립トを参照すること。

イラストcは子どもが自分の部屋にひきこもって出てこない様子。親はドアの外で困っている。

2 発見 Vて、Nのことで (理由)

会話では、文を最後まで言わず、途中で切り上げることがよくある。ここでは元気がない理由を言うためにこの方法を使っている。話が込み入っていたり、その場ではあまり詳しく話せない内容を表すのに、「N(仕事、うち、子ども、...)のこと」という言い方もよくする。

3 話す

前述の通り、相手が大丈夫だと言っているのに、2回繰り返して「ほんとに？」と聞くのは話者の性格や状況によってはしつこいと思われるかもしれないので、相手の反応を見ながら言うこと。

ことばと文化

あいづちの打ち方は文化によって違う。ある文化では当然のことが、ほかの文化では失礼なこととみなされる場合がある。

b「相手の目をじっと見る」：多くの日本人はだいたいな話をしているとき以外は、相手の目をじっと見ることに抵抗がある。特に目上の人に対しては失礼なことだと考える人もいる。

d くびをふる：日本人は一般に肯定的態度を示す場合は首をたてにふり、否定的態度を示す場合は首を横にふるが、文化によっては必ずしもそうではない。イラストはそれを表している。

3. 社会人のなやみ

「Can-do32 ほかの人のなやみについてしらべて、けっかとかんそうを話す」(B1)

1 聞く

場面：親しい友人同士で学校や職場の休憩時間などに雑談をしている

ほかの人の発言に対する反応として、予想通りのときに言う表現（「やっぱり」「よくわかります」など）、予想外だとする表現（「いがいです」「どうしてかなあ」など）を確認する。これらは会話をつなげるのに機能する。また、飲酒→人に悩みを話す→すっきりする、という行動の流れは、日本人には珍しくないパターンだが、学習者の国ではどうだろうか。飲酒に抵抗のある学習者に対しては、酒を飲むことよりも、「心のうちをほかの人にさらけだす雰囲気」と置き換えて説明するのも一案だろう。

2 発見 S (普通形) かもしれません （話し手の個人的な意見）

自分の推測で話をするときには、断定を避ける。「かもしれません（ね）」と言うことで、発言が個人的なコメントであることを示すことができる。初級 2 (L17)で既習。

3 メモ→話す

Can-do32 は悩みを調べるといっても、学習者の身近な人にランキングの表（現地語訳が必要）を見せて軽く選んでもらう程度で良い。悩みの内容をこと細かに聞いてくる必要は毛頭ない。ここで必要なことは、情報を整理して順位をつけ、簡潔に報告することと、それに伴う自分の意見を簡単に言うことである。悩みを調べてメモを書くことを宿題にして、会話は次の授業に行くなど必要に応じて授業日程上の調整を行ってほしい。時間をある程度とって教室で活動を行う場合は、インターネット（PC やスマートフォンを利用する）で学習者の国の悩み相談や生活調査等のサイトを検索し、情報を得てもよい。その際、年代、性別、職業など検索のキーワードによって分担して調べると、学習者の発表内容に変化が出ておもしろくなるだろう。

4. こまった友だち

「Can-do33 なやみ相談のサイトのきじから、ないようと相談している人の気持ちを読みとる」(B1)

1 読む

テキスト：ウェブサイトの悩み相談の記事。

30 代会社員女性の、親友との関係についての悩み相談を読み、状況を把握する。悩みへのアドバイスについては後続のセクション**5**で読む。ここではミポリンと S 子の行動と心情について考える。

テキスト中「～てくる（電話がかかってくる）」「～ていく（友だちとしての関係はつづけていきたい）」があるが、これらは文型・文法としては未習。「V てくる」は話者のほうに向かう動作、「V ていく」は現時点から先も動作が継続することを示すが、説明はテキストを理解する上で必要十分な程度にとどめる。「カレシ」のアクセントは今風に平板で。カタカナ表記だが、外来語ではない。漢字表記の「彼氏」では時代的に古い感じがあるため、あえて新しい語としてのニュアンスを出すために「カレシ」とした。「ミポリン」は本名ではなくネット上で使う名前である。副詞「せっかく」は「～のに」と共起しやすく、自分の労力をわざわざ使ったことへの強調の意味を持つ。期待外れの内容を提示する後件とあわせて、動作主の残念な気持ちを表すために使われる。

2 文法 S1 (普通形) のに、S2

S2 が、S1 から当然予測される状態・結果とは違っていることを表す。従って、話し手は不満、残念だという気持ちを持っていることになる。

(1) リサはサビタとの関係を修復するために気を使っているが、サビタの反応はリサの期待通りに行かない。それが「～のに」を使った文で表されている。

- (2) 新入社員の大山の不満を会話にした。学習者はそれを一文で表現する。④「新人なのになまいきだ」は、よく使われる表現。飲み会、二次会、わりかん、新人にもとめられることなど、会社員の文化が垣間見えるところなので、時間配分を考えて、クラスで触れてみてほしい。

3 文法 (N (ひと) に) V-て/V-ないで ほしいです

- (1) 仕事が多忙で家庭を顧みることができない夫／父と、妻、むすこととの会話を聞く。
 (2) 会話で聞いた内容を3人の立場からまとめる。会話から判断がつくものは、文末が「～ほしいです」、④⑤のように会話の中で直接ことばにされていないもの（代わりにイラストで表現されている）は、「～ほしいと思っています」にしてある。⑤は文構造が複雑で、「無理を言う」という表現も新しいため、難度が高い。

5. はっきり言いましょ

「Can-do34 なやみ相談へのアドバイスを読んで、だいじなポイントをりかいする」(B1)

1 読む

テキスト：ウェブサイトの悩み相談の記事で、ミポリンからの相談に対するアドバイス。

この読解は、活動の流れ上、質問に答えた後でチェックのために音声を聞くこと。ミポリンと同様、「ウルトラのママ」「ドクターランプ」はネット上の名前。

2 話す

悩みに対して解決策は1つではなく、aのように正面から直接働きかける方法もあれば、bのように時間をかけて様子を見る方法もある。学習者はどう思うか、話し合う。

トピック 8 旅行中のトラブル

トラブルの対処はB1レベルのCan-doの一つ。トピック8では、旅行中のよくあるトラブル（空港、ホテル）を取り上げる。

1. 空港の中

1 空港でトラブルが起きそうな場所の写真。写真を見て自分の経験を思い出し、簡単に話したりするとよい。空港内の場所・施設の名称は日本全国の空港で必ずしも統一されていないため、あえて本文にも記載していないが、参考までに以下の名称を紹介してもよい。

- a) チェックインカウンター
- b) 出発ゲート、搭乗ゲート
- c) 手荷物受取所、手荷物受取場、手荷物引渡場（成田空港）
- d) お忘れ物センター（羽田空港）、お客様ご案内センター、
忘れ物 → 落とし物、遺失物

2 空港アナウンスの文の中でよく使われる語いを確認する。p98の会話でも同じ空港アナウンスを聞くが、アナウンスは聞き取れないという設定なので、ここで説明しすぎないこと。「20分ほど」とは「20分ぐらい」と同じ意味だが、アナウンスの場合、ややフォーマルな「ほど」を使う。

3 語いマップによる整理。トラブルに関連してよく使う名詞と動詞と助詞を整理した。自分が話すのに必要な語いがあれば、マップに加えるとよい。

2. 今のアナウンス、何て言っていましたか

「Can-do35 空港でアナウンスがわからないときに、ほかの人に聞く／答える」(A2)

1 聞く

場面：日本に旅行に来た外国人が、帰国するために空港にいるが、アナウンスが聞き取れず、まわりの人に助けを求める場面。なお、空港のアナウンスを聞き取れることは、初中級の目標ではない。

(1) まず、イラスト（会話①を示している）で場面を確認する。この女性（ナターリヤ）は自分が持っている飛行機のチケットを見せながら話しかけている。自分の持っているものを利用すれば、より効果的なコミュニケーションができる。

(2) はアナウンスの部分だけを詳しく聞く。数字と地名は学習者自身書き込み、アナウンスのキーワードは選択肢から一つ選ぶ。また、下線部は意味を考える。回答方法が3種類あるので、混乱しないように指示を出す。

2 発見 「_____ そうです」

「V そうです」は「初級2」(L14)で既習。「～て言っていました」と合わせて、表現の種類を増やす。

3 話す

飛行機のチケットを見せながら、「すみません。あのう、同じフライトですか。」と言えるように、小道具（チケット）を用意しておく。また、「今のアナウンス、何て言っていましたか。」から会話を始めてもよい。コミュニケーションはことばだけで成り立つものではなく、物の助けが重要であることを確認したい。問いかけにあるように、話しかけるとしたらどんな人にするかも話し合うとおもしろいだろう。

ことばと文化

知らない人に話しかけて何かを聞くときの言い方。注目してもらふ表現、やわらげる表現を使うか、なぜ使うか、制約があるのかなど、言語の機能に対して気づきを高める。bでは「あのう」はいいが、「ええと」は使わない。「あのう」と「ええと」は同じ使い方だと誤解しないようにする。

3. あった、あった

「Can-do36 自分がどこで何をしていたか、思い出して言う」(B1)

「Can-do37 どこかに忘れ物をした友だちを助ける」(A2)

1 聞く

場面：出張者の石川が帰国するので、現地スタッフのタイラーも空港まで見送りに来ている。そこで起こったハプニングが会話の内容になる。

「V た後で」は初出だが、「N の後で」は既習（初級1 L8）なので、意味がわかればよい。「とにかく」

「V してみましよう」は、組み合わせがよく使う。あれこれ考えないでまずは行動、という意味。

2 発見

丁寧体・普通体の3回目。1回目はトピック4 (p58)で家族内での普通体使用、2回目はトピック5 (p68)で先輩・後輩、親しさによる使い分け。このトピックでは、普通体を独り言で使用する場合を取り上げ

る。石川は独り言では普通体を使用し、タイラーには丁寧体で話している。

3 話す

初中級の目標は、丁寧体・普通体を聞いて理解でき、自分に向けられた発言かどうかわかること。正確な使い分けまでは求めないが、忘れそうなものや置き忘れそうな場所は学習者自身で考えて、独り言の部分を楽しんでみてほしい。また、「あ、しまった！」や「どうしよう」といった、独り言の表現は教室内でも日常的に使えそう。この会話を練習するときには、表情や声の調子を意識して、気持ちに合った言い方ができるようにしたい。なお、「かばんが1つない」と言っているところは「かばんがない」としてもよい。Can-do36/37の音声(211)は女性の声で収録してあるので、音声(155)と合わせて利用してほしい。

4. トラブルのときのことば

「Can-do38 だれかに助けをもとめる」(A2)

1

場面：旅行先でのトラブルの場面。とっさの一言をどういうか、ここで学ぶ。

まずイラストを見て、具体的な場面、状況を確認し、そのときに使う表現を考える。チェックは音声(156)で行う。チェック用音声は効果音つきで、イラストに合わせた性別の声で収録。

- ①空港で友だちが気分が悪くなって倒れた場面
- ②空港でひったくりにあった場面
- ③ホテルの中で火事が発生した場面
- ④ホテルで火事が発生して逃げ遅れた場面
- ⑤満員バスをなんとかして降りなければならない場面
- ⑥海でおぼれてしまった場面

選択肢 a、d は男女で表現が異なるので注意する。

a 女性「助けて！」男性「助けてくれ！」

d 男性「火事だ、逃げろ！」、女性「火事です、逃げてください！」

b「すみません、だれか！」、e「すみません、おります！」の「すみません」は省略可能。

イラストで提示している場面のほかにも、どんなときに使えるか話し合うとよい。（「助けて！」「(すみません、)だれか！」「にげろ！」など）

2 聞く→言う

Can-do38の音声(212)は全表現、男性と女性の声で収録。

5. 海外旅行のトラブル

「Can-do39 サイトのきじから、書いた人が経験した旅行中のトラブルとそのときの気持ちを読みとる」(B1)

1 読む

テキスト：あべれいなブログ。ここでは海外旅行のときのことを書いている。

ことばや表現（のに、Vてもらう、Vてくれた、すてきな、やっど）、絵文字や擬音語（エーン、ホッ）をヒントに気持ちを読みとる。絵文字や擬音語を使うと、どんな効果があるか話し合う。ブログの内容

は、旅行にトラブルはつきものだが、人に助けってもらったり、自分の力で解決するのもいい経験だということがポイント。

2 文法 自動詞・他動詞

初級2までに学習した自・他動詞を整理する。初中級では区別があることを理解し、聞いて状況がわかればよい。正確な産出は目標にしない。「0 (ゼロ)」の読み方は302号室を例に示した。トピック8では、p97の105便 (イチゼロゴ) も含め、「0 (ゼロ)」の読み方で統一。ほかの言い方「0 (レイ、まる)」もあるので、紹介してもよい。

3 文法 V1ながらV2

V1とV2は同じ動作主によって同時並行して行われるが、主な動作はV2。V1はその付帯状況を表す。また、(3)の②④は「ながら」以外の表現。同じ問いかけに対して、答える内容に応じて複数の形式を使い分けることを意識する。

6. ブログへのコメント

「Can-do40 サイトのきじから、書いた人が経験した旅行中のトラブルと、それを今どう考えているか読みとる」(B1)

1 読む

テキスト：あべれいなさんのブログへのコメント。

このトピックではトラブルを話題にしたが、トラブルとそれを解決するプロセスもまた旅の思い出の1つという前向きな考え方をもって、まとめたい。

2 話す

トラブルがあったときに助けってもらった経験だけでなく、トラブルで困っている旅行者を助けた経験もあれば話す。助けるために何をするか、そのときどんな日本語表現が役に立つか確認できるとなおよい。

トピック9 仕事をさがす

仕事は多くの成人学習者にとって関係のあるトピックだが、ここでは特に就職活動のために会社訪問をしたり、友人にメールで相談したりする場面を設定している。その中で、仕事の内容や、職業や職場を選ぶときに重視していることを話題にする。

1. いろいろな会社

- 1 会社の業種の名称。知っている日本企業、自国の主な企業がどんな仕事をしているか具体例（会社名）をあげて話す。語彙が細分化しているが、学習者は自分に必要なものを覚えればよい。
- 2 望ましい職場についてどう表現するか、語の組み合わせで覚える
- 3 職場での行動を表す語を学習する。

2. 少々お待ちください

「Can-do41 会社の受付で、会いたい人にとりついでらう」(A2)

1 聞く

場面：日本の大学院に留学中のカーラは、日本企業への就職を考え、知り合いの会社を訪問する。今、会社の受付で知り合いを呼び出してもらうところである。

カーラは4つの会社に行く。受付ではほとんどの場合敬語で対応するが、やりとりの内容はある程度定型的なので、落ち着いて聞くこと。

③177④178の音声は、受付カウンターが社員の作業スペースに近い場合を想定しているので、背景音(オフィスノイズ)が若干大きい。

2 発見 ていねいな言い方

よく使われる表現なので、聞いてわかるようにする。尊敬語、謙譲語の区別や、動詞の変化のルールまで触れなくてもよい。「もうしわけありません」は、さらに丁寧に言うと「もうしわけございません」。

3 話す 受付の役は特に会社で働いていなくても、日本関係のイベントでのボランティアやアルバイト

などで役に立つかもしれない。このような公的な場面では言葉づかいもさることながら、礼儀正しくふるまうことが大事である。練習の時には、その点にも注意してみるとよい。

ことばと文化

受付や店の店員など客を迎える仕事には「丁寧さ」が期待される。丁寧さはことばだけではない。丁寧にしようと思ったらどんなことに気をつけるか、どんな行動が丁寧ではないと感じるか話し合う。非言語的な要素としては、態度(表情、姿勢)、しぐさ、服装、その他(飲食物や雑誌など仕事場面にふさわしくないものが置かれていないか)など様々あると思われるが、まず学習者から引き出す。

3. 働きやすいですよ

「Can-do42 勤めている会社と自分の仕事について話す」(B1)

1 聞く

場面：カーラが友人のパクの会社を訪ね、仕事のことや職場の様子などについて話を聞く。

「教えてもらえませんか」は丁寧な言い方。「教えてくださいませんか」はさらに丁寧度が上がる。

2 発見 「____たら、____たいと思って(い)るんです」

仕事や勉強などに関連した将来の希望や計画を、時期や前提となる条件といっしょに表明する。

3 メモ→話す

「会社について→会社の中での自分の担当→職場について思っていること」の順で話す。会社勤めではない学習者もいるので、その場合は、メモの黒字部分にこだわらず、自分のことを書くこと。「会社」は「職場」・「店」・「～というところ」・(～の)アルバイト・(～の)ボランティア、などに置き換えてよい。また、学習者によっては(退職した人など)、過去の職業経験を話してもよい。

4. しゅうしょくの相談

「Can-do43 しゅうしょくの相談とへんじのメールから、書いた人が何を思っているか読みとる」(B1)

1 読む

テキスト：カーラから木山への就職の相談のメールと、木山からの返事のメール

まず2つのメールを読んで、①から④の正誤を確認する。自信がなかったら、もう一度テキストにもど

ってよい。

カーラは、単に就職の希望を伝えるだけでなく、自分の能力や経験をアピールしている。一方、木山はカーラのメールを読んで、自分の会社で求められている人材とのずれを指摘している。カーラと木山の言いたいことを読みとること。また、木山の返事にある「上司にきちんと報告する」、「同僚と助け合う」とは、具体的にどのようなことか考える。

2 文法 V-る ことができます

就職面接の場面で、学生が自己アピールをしたり、面接者が学生の能力や意思を確認したりする場面。ラグビー部（大学のチーム）のキャプテンの一般的なイメージと話し手の自己アピールの内容を結び付けて考えてみるとおもしろい。社会人の学習者なら、就職の応募者になるだけでなく採用側になることもあるかもしれない。自分の会社でどんな人が求められているかも話せるとよい。

3 文法 V1-る より V2-る ほうが イ A/ナ A です

人材派遣やリクルート会社の面談の場面。応募者が仕事や働き方についての要望や条件を言う。それに合った仕事を考える。名詞を使った比較文は初級 2 (L12)で既習。

5. キムさんへのメール

「Can-do44 しゅうしょく活動のかんそうを書いたメールから、書いた人の気持ちや考えを読みとる」
(B1)

1 読む

テキスト：日本の会社で働いているキムに、カーラが就職活動の感想を書いて送ったメール。
まず1分程度で、今、カーラが仕事に対してどんな気持ちでいるのかを読み取る（働きたいのか、働くのは少し先に延ばすのか）。その上で、カーラが「働くこと」をどのように捉えるようになったのか理解する。働き方には人や社会の価値観が表れるが、経験を通してそれをもっと深く知りたいというカーラの前向きな思いが理解できるとよい。多くの人にとって働くことは生活の中心であり、働く場が国際的な人の交流の場にもなっている現在、「働くことを通して、人や文化を知る」は大切なことだと思われる。

2 話す

社会人は、外国人、同国人を問わず、ほかの人と働く楽しさ、おもしろさ、苦勞などについて話し、学生は、社会人の話を聞いて疑問に思うことを質問してみるとよい。
